

カルガモ倶楽部

1 号

事務局 〒 638-0041 奈良県吉野郡下市町下市 882-6 Tel(Fax) 0747-52-0985 karugamo@oyasato.net



笑わない人がいます。
笑えない人もいます。
笑って暮らしたいのに。

日々はありがとごさいます。
書に魂を置く
私の命よ
文字とことばの命よ
ましろな海に
弾けて輝け
(2007.11.1)
パリから帰国した直後に詠んだ五行歌です。
パリパリに張り切っています。
この想いはずっと変わりません。

【カルガモ倶楽部紹介】

1. 名称・・・カルガモ倶楽部
2. 目的・・・川上美也子さん（カルガモ母さん）の書作活動全般の応援団
3. 活動内容・書作展の開催 書作品の貸し出し
「カルガモ母さん web site」の管理運営
4. 運営費用・カルガモ会員（特別会員 年会費 6000 円、一般会員 年会費 3000 円）
会費、寄付金、ポストカード、Tシャツなどのカルガモグッズの売り上げ金を充当
5. 設立・・・平成 15 年 1 月 26 日
6. 倶楽部スタッフ
代 表・・・藤田文雄
天理教夕張大教会長 北海道教区長
副代表・・・稲葉美徳
天理教大美町分教会長 小児科医
副代表・・・川上孝二 本上馬分教会教人
事務局長・・・水本治男 天理教新興分教会長
事務局・・・新田恒夫 天理教蘇我町分教会長
会 計・・・降幡めぶき 天理教東大教会教人
会 計・・・笠井良治 天理教よろこび布教所長
幹 事・・・千田兼宏 天理教西湘都分教会後継者
"・・・山崎栄慈 天理教淵和分教会長
"・・・高見 隆 天理教奈和重分教会長
(平成 21 年 9 月 25 日改選)
7. 事務局所在地
〒 638-0041 奈良県吉野郡下市町下市 882-6
TEL&FAX 0747-52-0985

何をしても
何もしなくても
時は待ったなしで流れるが
なんと
ゆったり流れることが
(2009.6.15)
おかげさまで去年からは、こんな調子です。
どうかよろしくお願い申し上げます。
川上美也子

「ありのまま」 書家 川上美也子 公式 website

<http://karugamo.org/>

カルガモ母さんブログ「ありのまま」

http://blog.goo.ne.jp/karugamo_2005

カルガモ倶楽部事務局アドレス

karugamo@oyasato.net

全国各地で展示会の開催を計画したいと考えています。裏面の「倶楽部の趣旨」をご参照の上、ご支援ご協力をお願いいたします。

平成 23 年

カルガモ倶楽部特製カレンダー

6 月書作展にて、サンプル展示

頒価発表、予約受付いたします。

カルガモ倶楽部会員には無料で贈呈！

【カルガモ倶楽部の趣旨】

なぜ私たちは川上美也子さんを応援するのでしょうか？ なぜでしょう？

お金がなくてかわいそうだから？ 障がいがあつてかわいそうだから？ けつしてそんなことではありません。美人であるから？ オチャメでもむしろいから？ それも違うように思います。書の芸術性？ 文章のうまさ？ 確かにそれは事実です。でも、それだけではありません。少なくとも私たちは、川上さんを応援している理

由は、彼女の生き方に共鳴しているからなのです。

ありのままの自分を受け止め、その中に精一杯喜びを見つけようとする川上さんの姿は、状況は違つていても「水を飲めば水の味がする」と仰つた教祖の御心・ひながたとどれだけの隔たりがあるでしょうか。彼女の毎日の生活は紛れもなく、ひながたを辿ろうとする歩みだと思えます。

カルガモ倶楽部はカルガモ書作展を「天理教の新たな文化布教」と位置づけ、取り組んでいます。川上さんの書を紹介することは、川上さんの生き方を紹介す

カルガモ書作展 in 天理

日時 平成 22 年 6 月 25 日午前 10 時
～ 27 日午後 2 時

会場 ギャラリーおやさ
(天理本通り)

内容 書と生け花の展示

書家 川上美也子さん

華道家 西田華舟さん

テーマ 生かされている喜び

※ 入場無料

お問い合わせは

カルガモ倶楽部事務局か奈良教務支庁まで
カルガモ倶楽部・奈良教区文化体育部共催

ることです。それは、ひながたを伝えることにつながり、まさにをいがけのひとつの形です。自分の障がいの重み、さまざまな悩みの重さから生きる喜びを見失っている人が、川上さんの生き方との出会いをきっかけに、一筋の喜びの光を見つけたとすれば、それは大きなおたすけにならないでしょうか。少なくともおたすけのきっかけにはなると確信しています。



以上のように考え、川上さんを応援する気持ちを一歩進めてみると、書作活動全般をサポートし、書作展を開催し、カルガモ倶楽部の賛同者を募ることは川上さんを道具とした私たちの布教の場であると考えられます。教内・教外の施設を問わず、カルガモ書作展を全国で開催することをカルガモ倶楽部の活動として思いと思っています。ご協力をお願いします。

作品の貸し出し OK

カルガモ倶楽部では、昨年 9 月のスタッフ会議において、今までに書かれた作品は多数で、その殆どが倉庫で眠っている状態です。「せつかくの素晴らしい感動的な作品がもつたいな」との意見が出て、平素から少しでも多くの人に見ていただくこと、川上美也子さんの了承を得て、今年の書作展後に希望や依頼があれば大教会や分教会、教務支庁などに貸し出しをさせていただきます。ご了承ください。

次の要領で貸し出しさせていただきますので事務局までご連絡ください。貸し出し依頼責任者、保管責任者は、倶楽部会員であること。作品の受け取りは、宅配便の場合は、着払いとすること。貸し出し中の作品が展示会で使用するときは、展示会場まで輸送して頂くこと。(元払いか着払いかは適宜検討)代替作品は相談します。尚、表装済みの作品名簿(額、軸、大きさなど)は、次回の会報に掲載予定です。

会費のお願い

6 月 25 日から 27 日まで、おごちばで「カルガモ書作展」を開催しますので会場にお運びくださりご鑑賞ください。その時に、今年度のカルガモ倶楽部年会費をお願い致します。もし帰参予定のないお方は同封の振込み用紙にて納入くださればうれしく思います。寄付金などにつきましては同様にお願いします。

年会費として、特別会員は、六〇〇〇円。毎月郵便局の口座から五〇〇円引き落としです。一般会員は、三〇〇〇円。郵便振込みか会場にて一括納入です。また、倶楽部では、カルガモさんの「書」を毎日ご覧いただき、どんな日々も元気や感動をもらい一日を喜び勇んで暮らすと、「書」の入った来年(平成 23 年)の特製カルガモカレンダーを頒布する予定です。尚、今年度に倶楽部会員の更新、新規加入してくださった方には、この特製カルガモカレンダーを贈呈させていただきます。(12 月中旬に郵送します)